

12



発行人／吉岡正人広報委員長

発行／公益社団法人千種法人会

〒464-0067 千種区池下1-4-18井上ビル3F

電話 (052) 763-0951

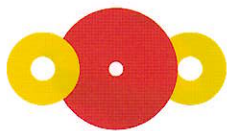
企画・編集／東海紙工株式会社・株式会社グラネット

印刷／東海紙工株式会社

<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/chikusa/>



公益財団法人日本工芸会
東海支部 常任幹事・人形部会長
人形作家 阪上展子さん



取材日時…令和7年8月27日(水) 14:30~16:30
取材場所…ルプラ王山
聞き手…岩佐佳典 広報委員、上田孝司 広報委員

夢中で制作していると、 人形の声が聞こえてくるのです。



人形作家 阪上 展子 さん 公益財団法人 日本工芸会 東海支部 常任幹事・人形部会長

広報誌[ちくさ] 12月号 目次

表紙の人	1
阪上 展子 さん	
report	2
区民まつり	
女性部会 夏の研修会	
青連協 ゴルフ大会	
広報委員会	
青年部会定例会	
事業委員会	4
女性部会役員会	
やさしい法人会セミナー(名中・昭和共催)	
青年部会情報交換会	
一社支部情報交換会	
正副会長会	
理事会	
福利厚生制度推進協議会	
理事懇談会	
青年部会定例会	
税連協役員会	
女性部会 絵はがきコンクール優秀作品選考	
総務委員会	
全法連 全国女性フォーラム・北海道大会	6
正副会長会	
理事会	
支部長・組織委員・厚生委員・大同生命推進員 合同会議	
女性部会 秋の研修会	
千石・大和支部 会員交流会	
税務情報	8
report	12
全法連 全国大会・高知大会	
親睦ゴルフ大会	
大規模法人研修会(名中・名東共催)	
青年部会定例会	
女性部会役員会	

とうそ 桐壺人形との出会いは30年前のある日突然に一。

——人形作家になられたきっかけはどのようなことでしょうか

私が桐壺人形と出会ったのは、本当に突然の出来事でした。子どもが1歳になった頃、たまたま夕方のテレビ番組を見ていたのです。日本伝統工芸展の案内の後で、桐壺人形で人間国宝の市橋とし子先生の特集がありまして、先生が台所で小さな鍋を使って生麩粉を練る様子の後に作品が何体か映し出されたのです。それを観た時まるで雷に打たれたかのように私の中に衝撃が走りました。こんな世界があるんだ、と大変感動し、自分もこれをやるんだという思いで胸一杯になりました。それまでの人生で美術や芸術に深い関心を持っていたわけでもなく、まして人形に特別な思いがあったわけでもありませんでしたから、不思議な体感だったと思います。人形に関して言えば一つだけ、小学生の頃、雛祭りが近づくると雛人形七段飾りを早く並べたくて、早く出して欲しいと父に頼んでいた事を思い出します。

矢も盾もたまらなくなって日本工芸会へ電話をしました。すると驚くことに、名古屋市中でも教えている先生がいっしゃるということで、連絡を待ちました。暫くすると千種区で教室を開いている小林幸子先生からご連絡をいただきました。そこで、教室の近くにある保育所を探して、週に1回通うことになりました。当時は携帯電話はなく電話帳で探しましたが、まだ1歳の子どものを預かってもらえる所は少なく、当時お世話になった保育所の先生方には心から感謝しております。

私は結婚後に憧れの添乗員になり、北は北海道、南は九州まで飛び回っておりました。さて次は海外へということで長女を授かり、添乗員を続けられなくなりました。子育てに専念して1年、ちょっと孤独感を抱えていたタイミングで桐壺人形に出会ったのです。突き動かされるかのような感覚で行動しました。ある意味アドベンチャラスなことだったと思います。

桐壺人形を作り始めて10年、 展覧会出品を機に作家としての覚悟を持ちました。

——人形を作ることへのスタンスは変化していったのでしょうか。

人形制作を始めて10年くらいは趣味の領域でした。でもある時、続けてい

くかどうかの葛藤があって、結果的には続けたいという気持ちが勝り、小林先生に私の作った人形を展覧会に出品する許可をいただきました。そして出品を境に私の人形に対する思いは強くなったと思います。以前は1年かけて1体を作るというマイペースでしたが、展覧会が年に2~3回あるので、今はそんな悠長なことと言ってられません。基本的には1体作ることに集中します。私は注意力が分散できないので、複数の同時進行は難しいのです。また、作っていても「これでよし」とはなかなか思えず、いわゆる「完成」が見えない中で悪戦苦闘する日々。趣味で作っていた頃に比べ、緊張感と集中力が不可欠になりました。

桐塑人形はとても繊細な動きを表現できるのです。

——桐塑人形の魅力はどのようなことでしょうか。

桐塑人形というのは、桐の大鋸屑に生麩糊などの粘着剤を混ぜて粘土状にし、桐の木の芯に肉付けして形を作り出していきます。乾燥すると大変硬くなるので、削ったりして形を整えたら、胡粉を何回も塗り、布や和紙を貼って仕上げていきます。桐塑が柔らかい間は自由な肉付けが可能なので、手の表情など繊細な動きを表現できるのが、特徴であり魅力です。

桐塑人形は江戸時代から雛人形や衣裳人形などの顔や頭、手足の成形に用いられてきました。大正時代末期から人形を芸術へという動きが起こり、多くの方々のご尽力のお陰で、昭和29年(1954年)第1回日本伝統工芸展で人形部門を設立。昭和30年(1955年)には初めて衣裳人形で平田郷陽氏、同年女性で初めて衣裳人形で堀柳女氏が人間国宝に認定。昭和36年(1986年)には紙塑人形で鹿児島寿蔵氏、昭和61年(1986年)衣裳人形で野口園生氏。そして平成元年(1989年)桐塑人形で市橋とし子氏、平成8年(1996年)衣裳人形で秋山信子氏、平成14年(2002年)桐塑人形で林駒男氏が人間国宝に認定されました。この展覧会は今年で72回になります。第70回より古川美術館様にて開催しております。

——依頼されて作ることもありますか。

依頼を受けましたら作ります。強く印象に残っているのは、ある方から頼まれた内孫さんのための五月人形です。軍配扇にそのお宅の家紋を施しました。その方は体の調子が悪く命が危ぶまれる状況でしたので、精魂込めて没頭し急いで作り上げました。人形を見た時にとても喜んでくださったお顔が今も胸に残っています。

私の人形作りの基本は、全身で感じる魂の表現です。

——人形作りにおいてテーマはありますか。また今日お持ちくださった人形はどのような経緯で作られたのでしょうか。

この「洛北の朝」という作品は、平成26年(2014年)に日本伝統工芸展で初入選したものです。これは京都在住だった人間国宝・林駒男先生の研究会で、洛北の大原へデッサンに出かけたのがきっかけになった人形です。大原で最初に出会った景色は、雨上がりに光が射して、言葉では語れないほど美しい光景でした。私はその後3年くらい大原に

通い詰めて、その土地の風土と歴史を学び、大原そのものを体感しました。人形という形にしたのは「大原女」。大原で採れる柴薪を頭に載せて京の町へ売りに行く行商の女性のことです。大原女の服装は、時代を遡れば平安時代の建礼門院に仕えた阿波内侍に由来するそうですが、時代ごとに衣装は変化してきました。この作品は江戸時代の風俗として表現しています。

大原にはお寺が点在していることから、まだ寒い春の早朝、仕事に出かける前にお寺の前で手を合わせる—そんな情景を想像し、表現したいと思った作品です。

もう一つの「茜空」は、昭和62年(1987年)に訪れたニューヨークで感じた静かなエネルギーが原点になっています。治安の悪い当時のニューヨークで、貧しい少年が将来の成功を夢見てニューヨークマンハッタンを眺める姿です。少年の思いを表現したいと思いました。師事していた小林幸子先生に最後に見ていただいた作品です。完成をお見せすることは叶いませんでしたが、仕上げの時に少年の被る帽子に、先生からいただいた和紙を使いました。小さな深緑色の和紙が出てきてくれた時は、きっと応援してくださっていると感じました。この作品は令和2年(2020年)の春、東海伝統工芸展で賞をいただきました。

人形を作る時、ずっと前から心の中に抱いていたものが浮かび上がってきて、作らせてくれるというのを感じます。何かを見て感じて、空気が、大気、風…そういう様々なものや生まれた縁が、私の中にある何かを呼び起こしてくれるのかもしれない。

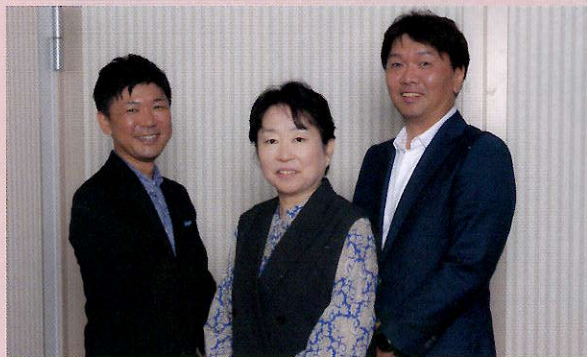
まだ見ぬ中央アジアの地で風や大気、風景、あるいは人々からもらう何かを受け止めて人形で表現したいと思っています。

——これからの夢や展望をお聞かせください。

作品を作っていて、行き詰まった時は外へ出かけます。目をつむると自然の音や風、香りなどを受けて何かが舞い降りてくるのです。私は今、中央アジアへ行きたいと思っています。特にシルクロード、ロマンがありますよね。ネパールとかモンゴルも。それぞれイメージは持っていますが実際に見てはいないので、作ることができません。とてももどかしさを感じます。私の場合、実際に見たり体感しない限り、形は作れても魂が入らないという感じなのです。

思えば制作中、人形と対話しながら作っていることもあります。作るのではなく、作らせていただく…。そうすると人形の声が聞こえるというか…。市橋先生の人形を観て行動を起こしたのも、もしかしたら人形が私を呼んでくれたのかもしれない。面白いから貴女もやってみたら。いろいろなご縁をいただいて、この道を歩んでいるのも偶然ではなくもしかしたら運命の必然なのかと思う今日この頃です。

桐塑人形を作る人は年々減ってきています。世の中がものすごい速さで進んでいる時に、時代遅れと言われるかもしれない事をしています。しかし、この時代だからこそ誰かがやらないといけないのでは、と思います。特に若い人たちに興味を持ってもらいたいものですね。日本の文化を繋いでいってほしいのが、今一番の望みです。



●プロフィール

阪上 展子(さかうえ のぶこ)

名古屋生まれ。桐塑人形で重要無形文化財(人間国宝)の市橋とし子先生の作品を観て、心に強く響いたのをきっかけに人形制作の道に入る。

1995年人形作家・小林幸子氏に師事。

2006年第27回東海伝統工芸展にて「夕映え」初入選。以後多くの人形を制作、数々の賞を受賞している。

2010年 第41回東海伝統工芸展「稜線」東海伝統奨励賞受賞。
2011年 第42回東海伝統工芸展「蒼海」三重県教育委員会賞受賞。
2014年 第61回日本伝統工芸展「洛北の朝」初入選。
2018年 神宮美術館-歌会始御題によせて-「語り」展示。
2019年 ジェイアール名古屋タカシマヤ美術館廊下三人展。
2019年 伝統工芸創作人形展 日本工芸会人形部会長賞受賞。
2020年 第51回東海伝統工芸展「茜空」岐阜県教育委員会賞受賞。
2018年に日本工芸会東海支部人形部会長就任。
2019年に日本工芸会正会員認定を受ける。現在、日本工芸会東海支部常任幹事を務めている。

<活動スケジュール>

●第72回日本伝統工芸展

会期:令和8年1月21日(水)から1月26日(月)

場所:仙台三越

会期:令和8年2月4日(水)から2月9日(月)

場所:福岡三越

【日本工芸会ホームページ: <https://www.nihonkogeikai.or.jp/>】

●第57回東海伝統工芸展

令和8年3月下旬に展覧会情報が

日本工芸会 東海支部ホームページに掲載されます。

<https://nihonkogeikai-tokai.com>をご覧ください。

千種区民まつり

日時:令和7年10月5日(日) 10:00~15:00
会場:平和公園 メタセコイヤ広場

子ども税金クイズでスーパーボールすくい

千種法人会は、平成19年(2007)から千種区民まつりに参加しています。

法人会は恒例の税金クイズとスーパーボールすくいを開催、クイズに答えた子どもたちがポイを手に、プールに浮かんだ色とりどりのスーパーボールをすくっていました。

午前中小雨が降りましたが、大人気のスーパーボールすくいには長蛇の列ができ、終始大盛況でした。





女性部会 夏の研修会

日時:令和7年7月8日(火) 8:00~19:00
会場:2025年 日本国際博覧会(大阪・関西万博)



青連協 ゴルフ大会

日時:令和7年7月8日(火) 8:00~
会場:葵カントリークラブ

広報委員会

日時:令和7年7月10日(木) 18:30~
会場:ホテル ルブラ王山
議題:ちくさ7月号について
ちくさ12月号の企画について
新企画について

青年部会 定例会

日時:令和7年7月16日(水) 19:00~
会場:今池ガスビル

事業委員会

日時:令和7年7月24日(木) 15:00～
会場:ホテル ルブラ王山
議題:講演会開催について
講演会講師の選考について
区民まつりについて



女性部会 役員会

日時:令和7年8月28日(木) 14:00～15:00
会場:事務局
議題:絵はがきコンクール
秋の研修会
千種区民まつり 他

やさしい法人税セミナー (名中・昭和共催)

開催日程:①9月4日(木) ②9月10日(水) ③9月17日(水)
④9月24日(水) ⑤10月2日(木)
時間:13:30～16:00
会場:昭和ビル
講師:四井 清裕 氏 税理士 元名古屋国税局調査部長



税理士・元名古屋国税局調査部長
四井 清裕 氏



青年部会 情報交換会

税務署長との懇談会 ～税と我々との関わり～
日時:令和7年9月11日(木) 11:00～
会場:ホテル ルブラ王山



廣瀬光彦会長

小池一彰署長



一社支部 情報交換会

日時:令和7年9月18日(木) 17:30～
会場:千鷹
勉強会「法人会作成の自主点検チェックシートについて」
講師:千種税務署 法人課税第一部門統括官 山田 純子 氏



正副会長会

日時:令和7年8月5日(火) 15:30～
会場:ホテル ルブラ王山



理事会

日時:令和7年8月5日(火) 16:00～16:45
会場:ホテル ルブラ王山
議題:第1号議案 理事会費について
第2号議案 再入会者等に対する再入会の可否について



廣瀬光彦会長



小池一彰署長



福利厚生制度推進協議会

日時:令和7年8月5日(火) 16:45～17:00
会場:ホテル ルブラ王山



理事懇談会

日時:令和7年8月5日(火) 17:10～18:40
会場:ホテル ルブラ王山

青年部会 定例会

日時:令和7年9月17日(水) 19:00～
会場:今池ガスビル



税連協 役員会

日時:令和7年9月17日(水) 10:30～
会場:千種生涯学習センター

女性部会 絵はがきコンクール優秀作品選考

日時:令和7年9月17日(水) 13:30～
会場:事務局



総務委員会

日時:令和7年9月18日(木) 11:30～13:00
会場:ホテル ルブラ王山
議題:新春講演会の開催方法等
賀詞交歓会の開催方法等



全法連 全国女性フォーラム・北海道大会

自然と女性の活力で 笑顔いっぱい北海道。

～明日をつなごう！未来を繋ごう！～

日時:令和7年9月18日(木) 14:00～

会場:札幌パークホテル

〔記念講演〕

演題:「ストーリーあるプロデュース

～北海道における人づくり・モノづくり・地域づくり～」

講師:伊藤 亜由美 氏

(株)クリエイティブオフィスキュー 代表取締役



正副会長会

日時:令和7年9月25日(木) 14:30～15:00

会場:ホテル ルブラ王山



理事会

日時:令和7年9月25日(木) 15:00～16:00

会場:ホテル ルブラ王山

議題:第1号議案 令和7年度の会員増強方針について



廣瀬光彦会長

須田潤一副署長



支部長・組織委員・厚生委員・大同生命推進員 合同会議

日時:令和7年9月25日(木) 16:00～17:00

会場:ホテル ルブラ王山

議題:各支部の活動状況
今後の計画と会員加入勧奨促進のための情報交換
福利厚生制度の推進について

